

9/16 仙台の良さの実感と 関係人口への進化など一般質問

市長選挙を経て、郡市長の3期目がスタートした。これまでの公約の継続性との関係、新たな理念や施策の取り組みについて聞き、2期3年の取組みの成果を台に、観光・MICE都市への飛躍や、若者の海外に向けたスタートアップ支援、子育てしやすい環境づくりに力を入れたことで、国内外の多様な人々を惹きつけ、自由な発想やアイデアが掛け合わされて、まち全体が活力に溢れる、それをさらに強化していく必要があるという思いであると考えています。また関係人口の創出について聞き、観光などで訪れた旅行者が、その後もその地域のファンとして商品の購入など多様な形で関わり、環境の魅力を伝える機会を創出するなど、関係人口の拡大という面での取組みを進めていくと答えました。

困難な問題を抱える女性への支援

2022年5月に困難な女性支援法が成立したが、市民への周知と計画について聞き、法施行後、市民団体からの要望に応じた講演の実施、国主催の研修への職員参加を通じて、法の趣旨と支援の必要性等について理解を深めてきた。計画は次期男女共同参画せんだいプランに包摂することとして今回の答弁でした。さらに女性に対する暴力の被害者支援をする市民団体に対する必要な財源の確保と補助を求め、昨年度より民間団体が実施する支援事業へ補助しており、事業の効果を検証し、

新たな施策の展開を検討すると述べました。

市立学校におけるDV講座等の実施状況、児童生徒が学べる予算措置について聞き、せんだい男女共同参画財団が主催するDV講座を設けており、昨年度、市の小中高等学校3校で講座を実施した。今後も教育委員会と連携しながら、啓発等の取り組みの充実や財源確保について検討すると答えました。

女性用トイレにおける行列問題

NPO法人日本トイレ研究所によると、男性のトイレ利用時間が平均30～40秒なのに対して、女性のトイレ利用時間は90秒ほどである。女性のトイレ利用時間が長いのも関わらず、男性よりも設置数に少ないことにより行列ができ、7月に内閣府からの緊急通知「イベント開催時における女性用トイレへの配慮について」の内容および対策について聞き、設備数や設置エリアの工夫、柔軟な一時転用などに配慮するよう通知が来ている。給食室のエアコン設置は学校の改築等の機会を待たずに対応を図るべく検討を進めていると述べました。

仙台市立学校の男女トイレ設置数の比率

仙台市立小中学校のトイレ便器数の調査に基づき、トイレの設置数に関する基準等の考え方と受け止めについて



間、階別の最大収容人員に対して女性用は20人に1基、男子用小便器は25人に1基、大便器は40人に1基を基本とし数を定めています。男性女性トイレの利用状況に対する社会的状況や国の検討状況などを注視しながら、適切な整備を進めていくとの答弁でした。

	男子小中高等	女子小中高等	男子小中高等	女子小中高等
小学校	5,982基	4,706基	1,27:1	
中学校	3,282基	2,566基	1,28:1	

仙台市立小学校118校、中学校64校の学校トイレの状況(2025年8月現在)

市立学校における給食室等の空調整備

学校の特別教室および体育館の空調設備および半数が整備されていない単独調理校の給食室のエアコン設置について聞き、特別教室については、令和6年度からの3カ年でルームエアコンを整備することとし、今年度は中学校を中心に整備を進めているところであり、その後、小中学校の整備に取り組む予定。体育館については、令和15年度まで空調を整備することとしている。給食室のエアコン設置は学校の改築等の機会を待たずに対応を図るべく検討を進めていると述べました。



そのほか、戦後80年によせて、仙台市戦没者慰霊祭での市長メッセージ全文が市HPに掲載されることが答弁されました。さらに男性用サニタリーボックスの区役所への設置、国内最大級の防空壕調査、保存、伝承活動の活用なども求めました。

ひぐちのりこ 市議会ニュースレター あったかトーク

2025年 第54号 秋号



立憲民主党仙台市 幹事長
●健康福祉常任委員会委員
●防災危機都市 副市長特別委員会委員
●仙台市国民健康増進推進委員会委員

制強化、犯罪被害者等への支援金交付・助成見込み増への対応、今年6月の第2回定例会議会において、議員提案で制定された「終活支援条例」に対応した相談支援や周知広報経費、宮城交通を対象とした新たな学生フリーパス利用者増への対応経費など、計8億1,600万円が計上されました。

【採択された意見書案】

- 「学校施設環境改善交付金の十分な財源確保を求める件」
- 「下水道管の老朽化に対するさらなる財政支援を求める件」

陸上競技場・教育センターを大規模改修

工事請負契約の締結に関する件では、本庁舎整備に伴う議会映像審議設備

秋のイベント盛りだくさん

今年は西公園開園150周年の節目。この秋には福祉まつりウエルフェア、交通フェスタや下水道フェア、みんなの年。小学生による「未来の西公園」の入選作品表彰式や、西公園のシンボル蒸気機関車C601の場所でのミニガスフェアなど仙台市等の主催のSLの乗車体験もありました。その他、数々のイベントが目白押しです。



新たな学生フリーパス(せんだいパスFREE+)

「出産育児一時金」に上乗せ支援金

一般会計補正予算は、令和9年度に本市で開催の「アジア太平洋防災国際会議」の準備経費、国の新生児1人につき50万円の「出産育児一時金」に9万円を上乗せする支援金、年末年始に混雑が指摘されている休日夜間診療所の体

TEL 022-398-8171
FAX 022-398-8172
nori@city-sendai.jp
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
フリーマウラー社主101

お問合せは
こちら

くわしくは公式HPへ

東奔西走！皆さんの声を聴いて、市政へ！

9/19 健康福祉常任委員会で質問

年末年始の初期救急医療体制確保の具体的な内容について聞き、昨年度は患者を長時間待たせたとのこと。今年度は受付事務、会計事務の効率化や救急隊の増員、待ち人数表示呼び出しシステムを導入する予定である。年末年始に対応する休日当番医を確保するとともに、仙台オーブナリー病院に臨時外来を設ける。

園し、必要な診療体制を整える考えであると述べた。
七北田保育所の建て替えに伴い、仮園舎に移転するタイミングの本年11月から、3歳以上に対し主食食糧供給が始まる。平成13年から取り組まれてきた公立保育所の主食食糧供給が全31カ所で行われると答弁を得ました。

9/22 環境費、9/26 経済費、9/26 交通局・高速鉄道 決算等審査特別委員会分科会

環境費では、本市のごみ分別、減量の小学校教育について、出波や車庫の整理などについて質問し、清掃工場の見学や環境事業所職員が学校に出向いて、資源の分別分別講座などを行っていることと答えた。ごみを削減する荷台部分がスクルトン加工されている環境学習用バスが導入されていることと答えた。



支那の強化を求め、市内11地区での農業者等と話し合われた地域計画が策定されたこと、国の支援が可能となることから、伴走型の支援を行っている。本市独自の用水路等の整備、スマート農業の導入、海外に向けた販路拡大などを行い、農業に従事している方が将来に向けて希望が持てるような施策を進めていることと答えた。

交通局・高速鉄道では、地下鉄駅のトイレの不具合の発生と対応を聞き、トイレのトイレの使用や汗拭きシートの不備が流されることで配管やポンプが詰まる事象が相次いでいる。速やかに使用を停止し、つまりを解消し早期の使用再開に努めていることと答えた。東西線仙台駅構内のエスカレーターに、後方確認ができる特殊ミラーが昨年12月から設置されているが、目的とアンケート結果との後の対応について聞き、特殊ミラーは背後にいる人の不審な行動を抑制する効果が期待できる。駅構内の前線、蓋開きの取り組みの一環として、試験的に設置した。アンケートでは肯定的な意見が95%だった。今年4月からは本運用とし、6月に駅構内にも設置した。今後は他の駅でも特殊ミラーの設置を検討していることと答えた。

地下鉄駅構内に設置された特殊ミラーについても質問し、南北線では新型車両に設置されており、令和12年度に全車両で設置が完了する。東西線では南北線での活用状況を踏まえて導入を考えたことと答えた。



地下鉄駅構内に設置された特殊ミラー

10/8 立憲民主党仙台、来年度の市政要望と予算要望提出

仙台市議会立憲民主党仙台市会派は、和歌子仙台市長に対し、『仙台市政運営および2025年度予算に関する要望書』を提出した。
市政運営に関する要望では、「子どもの権利条例」、「交通基本条例」、「結付型奨学金条例」市発注公共事業等受注する地元企業や働く方々の労働条件などの対策に向け、「物価スライド制」の導入および「公契約条例」の制定。また、農政との関係強化に關し、新年度予算に関する要望については、本市に関する要望が74件、各区に関する要望が58件(青葉区は新たにできた上杉の大型商業施設付近の渋滞緩和策や、ブルーバード活動にかける各級

【市議会】新年度予算案は、市民生活の向上に資する施策を盛り込むなど、ご要望をおかけすることとさせていただきます。その際には、市民生活の向上に資する施策を盛り込むなど、ご要望をおかけすることとさせていただきます。その際には、市民生活の向上に資する施策を盛り込むなど、ご要望をおかけすることとさせていただきます。

10/6 決算等審査特別委員会全体会

昨年度の人事委員会報告の趣旨を聞き、官民格差を解消するため、初任給の引き上げを含む月明給の改訂などを報告した。人材の確保が喫緊の課題であり取り組みを進めるべきと答えた。また、積み残しの課題として再任用職員の処遇があげられ、一時金についても再任用職員の半分程度となっている。また、定年引上げにより60歳を超えた高齢雇用者についても、月給給が抑えられている現状がある。同一価値労働同一賃金の原則に従ってこれを改善すべきと指摘し、給与については地方公務員法に定める均衡の原則を踏まえ、再任用職員については、民間給与水準が60歳前の7割を超えている調査結果この間報告をしてきた。定年引上げによる60歳を超えた職員に達する、同様の措置を講じていることと答えた。

10月4日宮城県の最低賃金が時給973円から1038円となる。外郭団体においても賃金上昇にきちんに対応し、働き手を確保していくことが必要。今年度も過去最高のアップ率となった最低賃金だが、本市としても外郭団体に對してならぬかの補助等のサポートや周知、指導を行うべきと賛し、各団体において適切に対応していることと承認している。意見交換の中では人材不足に加え、昨今の賃金上昇の影響により人材確保が困難になっていると聞いている。担当局と連携し、適正な団体運営が図られるよう努めていくことと答えた。

多胎児が別の保育所に入所する事例もあることを踏まえ、来

年度から多胎児入所の評価基準を導入するとしているが、既存のきよりだいたい込み指数3点に加え、新たに2点を加えることとしており、多胎児の負担軽減を図ると答えた。
仙台市役所経営プランにおける女性職員の活躍推進では、指針が係長職昇任試験における女性職員の受給率となっているが、そもそも昇任試験の対象とならない職種の女性職員の割合が87.4%であり、昇任試験自体が行われない職員では男性が8.5%に達し、女性に46.1%と偏りがある。女性の活躍推進について、広範な考え方による指標が必要と質問し、経営プランにおける指標については女性活躍推進法において明示されている目標項目を用いており、他都市においても同様の状況である。引き

職別	管理職割合	女性比率
事務・福祉	18.8%	42.9%
土木・造園	17.8%	17.7%
建築	20.3%	39.5%
機械・電気	12.9%	4.9%
衛生・化学・獣医師	23.3%	66.7%
保育士	3.6%	94.3%
合同女性比率	11.3%	96.2%
心理	4.4%	80.0%
栄養士	2.0%	100.0%

□で示した部分は最低賃金昇任試験制度がない職種

主な活動日誌

8月15日	8.15戦争を阻止する平和集会	10月4日	魅力いっぱい交通フェスタ2025、下水道フェア
8月17日～19日	全国議員団夏季研修会、会派視察	10月13日	みんなで子育てフェスタと健康フォーラム
8月21日	市民教育常任委員会、女性市議と仙教組女性部との懇談会	10月16日	こくほ健康フォーラム21
8月31日	災害対策セミナー「医療的ケア児者への非常電源補助制度を学ぶ」	10月18日～19日	貝ヶ森地区文化祭
9月5日～10月8日	仙台市議会第3回定例会	10月21日	健康福祉常任委員会
9月7日	青葉消防団特別点検、宮城地区消防団特別点検	10月24日～26日	2025ガスフェア
9月19日	健康福祉常任委員会		これからの主な予定
9月23日	みやぎアール大行進2025	11月2日	宮城地区まつり
9月27日	西公園開園150周年記念フェス、シニアいきまきまつり	11月3日	青葉区民まつり
9月28日	福祉まつりウエルフェア2025	11月4日	みやぎ女性議員のつどい研修会
		11月5日～7日	会派視察
		11月12日～14日	健康福祉常任委員会視察
		11月21日	健康福祉常任委員会
		12月2日～17日	仙台市議会第4回定例会

宮城地区消防団特別点検で「防災プレーカー」の説明

